

科目名	専門演習 I Seminar I						
科目担当者	村田 治彦 MURATA Haruhiko						
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習]				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>前半は、「法の基礎を学ぶ」と題して、実体法と手続法の違い、法の解釈など、法の見方・考え方の基本を理解する。</p> <p>後半は、裁判例を題材に、判例研究を通じて、法律の解釈論を学び、その能力を習得する。課題となる判例を検討する、レポーターを決め、レジュメを作成して、レポーターがそれに基づいて発表・司会進行する。</p> <p>レポーター以外の者は、発表内容の分からないところを質問し、その内容を理解した上で、問題点について意見を出し合っ、どのように考えるべきかを明らかにする。</p> <p>(コロナの支障がなくなれば) 現実社会での法のあり方を知るために、法廷傍聴や法専門家事務所訪問を行う予定である。</p>						
授業の到達目標	<p>①レポーターとしてのレジュメ作成 (情報収集・整理能力、問題発見能力、問題解決能力)</p> <p>②レポーターとしての発表 (プレゼンテーション能力)</p> <p>③レポーターとしての司会進行 (コミュニケーション能力)</p> <p>④質問 (回数・内容) (コミュニケーション能力、問題発見能力)</p> <p>⑤意見 [回数・内容] (コミュニケーション能力、問題解決能力)</p>						
授業計画・内容	1	オリエンテーション	16	判例研究2-1 (判例 [口頭弁論] を読む)			
	2	法廷傍聴1	17	判例研究2-2 (実体法を読み解く)			
	3	判例研究合同	18	判例研究2-3 (手続法を検討する1)			
	4	法の基礎を学ぶ1	19	判例研究2-4 (手続法を検討する2)			
	5	法の基礎を学ぶ2	20	判例研究2-5 (判例を検討する)			
	6	法の基礎を学ぶ3	21	スポーツと紛争処理			
	7	法の基礎を学ぶ4	22	ADR 研究1			
	8	法の基礎を学ぶ5	23	法廷傍聴2 (法専門家事務所訪問)			
	9	法の基礎を学ぶ6	24	判例研究3-1 (判例 [判決効] を読む)			
	10	法の基礎を学ぶ7	25	判例研究3-2 (実体法を読み解く)			
	11	法の基礎を学ぶ8	26	判例研究3-3 手続法を検討する1)			
	12	判例研究1-1 (判例 [訴訟要件] を読む)	27	判例研究3-4 (手続法を検討する2)			
	13	判例研究1-2 (実体法を読み解く)	28	判例研究3-5 (判例を検討する)			
	14	判例研究1-3 (手続法を検討する)	29	ADR 研究2			
	15	判例研究1-4 (判例を検討する)	30	ADR 研究3			
授業外学修 (事前学修)	<p>演習は、講義形式でなく、主体的な学習が中心となる。そこで、レジュメ作成等によって事前学習をやって貰わなければならない (180分)。</p> <p>分からない場合には、分からないまま放置するのではなく、サブゼミとして質疑応答の時間を設けるので、連絡して、質問して準備することが求められる。</p>						
授業外学修 (事後学修)	<p>発表し、質疑応答等によって新たに発見した課題については、次の発表に活かせるように、判例や文献等を調べ、自己学習を重ねて、テーマを深め、卒業論文の作成に繋げるようにする (60分)。</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	レポーターとしてのレジュメ作成 (情報収集・整理能力)				40%	①	
レポーターとしての発表 (プレゼンテーション能力)				30%	②		
質問、意見				20%	③、④、⑤		
司会				10%	③		
成績評価基準	<p>秀： (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優： (評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良： (評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可： (評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可： (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	特に指定しない						
参考文献	川嶋 四郎 ・ 笠井 正俊 (編) 『はじめての民事手続法』 (有斐閣・2020)						
その他	ノートパソコンを持参して臨むこと！						